

# 上町台地地域

## 【イメージの核となる資源】

- ①重層化する歴史と文化のまち
- ②緑と夕日と坂道のある大阪の背骨
- ③次世代へ繋ぐ潜在力

## 【背景】

- ・地域資源の維持・保全・活用・更新とエリアの情報発信の動きがある
- ・大阪における人口の都心回帰エリアである
- ・様々なNPOやまちづくり団体等の活動を展開している



居住イメージ：次世代へ歴史と文化を紡ぐまち

# 「上町・ヒルサイド・ライフ」

イメージターゲット：ファミリー層、シングル層、シニア層

高津宮



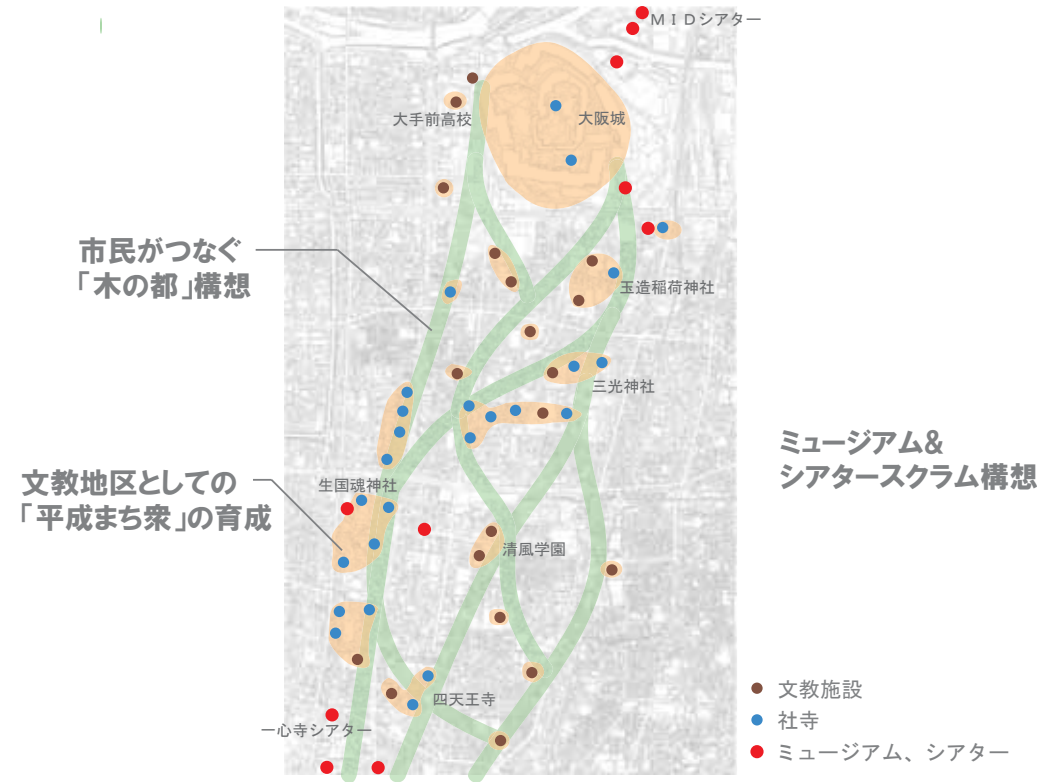
OBP (大阪ビジネスパーク)



散策路イメージ



大阪歴史博物館



大阪府



四天王寺



口縄坂



## 【今後の整備に向けて】

### 市民がつなぐ「木の都」構想

- 官民の文教施設（学校・文化施設・社寺などの歴史・文化の活動拠点）をつなぎ、ブラブラ歩くことができる緑の散歩道の整備によるエリア全体での「木の都」づくりを進める

### ミュージアム&シアタースクラム構想

- 大阪城界隈（大阪城ホール、大阪城音楽堂、MIDシアター、松下IMPホールなど）寺町界隈（大阪国際交流センター、一心寺シアター、應徳院など）、天王寺周辺（市立美術館、近鉄アート館、MIOホールなど）などエリア内にある多数のホールや劇場が連携して芸術文化イベント「(仮)上町台地アート・コレクション」を一斉に実施
- 各ミュージアムやシアターが連携して公式マップの作成や共通パス、周遊バスの運行などを実施するなど、文教地区としての認知度を強化する

### 文教地区としての「平成まち衆」

- 現状の評価の高い部分を更に伸ばすために、ひとづくり機能や市民力を強化する
- 公共文化施設を指定管理者制度にし、NPOが運営して地域づくりの核にする
- 社寺が持っていた「学び」（教育）や「癒し」（福祉）、「楽しみ」（芸術文化）の場としての機能を、現代の「まちづくり寺小屋」として再生する
- 初等・中高等教育機関の集積を活用した、地域の市民活動団体と連携した地域に開かれた教育の場づくりを行なう

### プラットフォームづくりとPR機能

- 市の支援策「マイルドHOPEゾーン事業」を活用した、地域のNPO等まちづくり団体のネットワークとプラットフォームづくりを進め、エリアビジョンの共通化を図る
- 地域情報誌やホームページ、資源データベースなどの充実による上町台地に関する情報発信機能を強化する



# 中之島地域

## 【イメージの核となる資源】

- ①歴史：江戸から続くビジネス街、企業市民のまち（大企業地主）
- ②大阪都心の南北軸・東西軸の要衝であり、島内インフラ中之島新線が進捗
- ③水辺景観：川と島（特異な地形・水都を代表する景観）
- ④良質な都市インフラとして大阪を代表する文化・学術施設の集積
- ⑤水都再生に向けた多様な取組み

## 【背景】

- ・水都再生の様々な取組みで注目される都心の水辺空間である
- ・大阪の国際・文化・情報化を図る様々な都市機能が集積している
- ・大阪市都市再生における重点プロジェクト～「ハート・オブ・大阪」にふさわしい国際アイランドの形成～として、様々な活動が展開されている



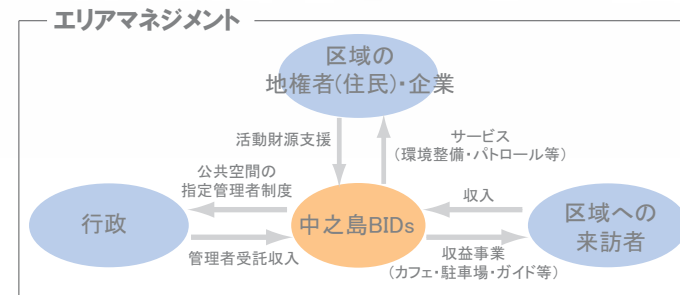
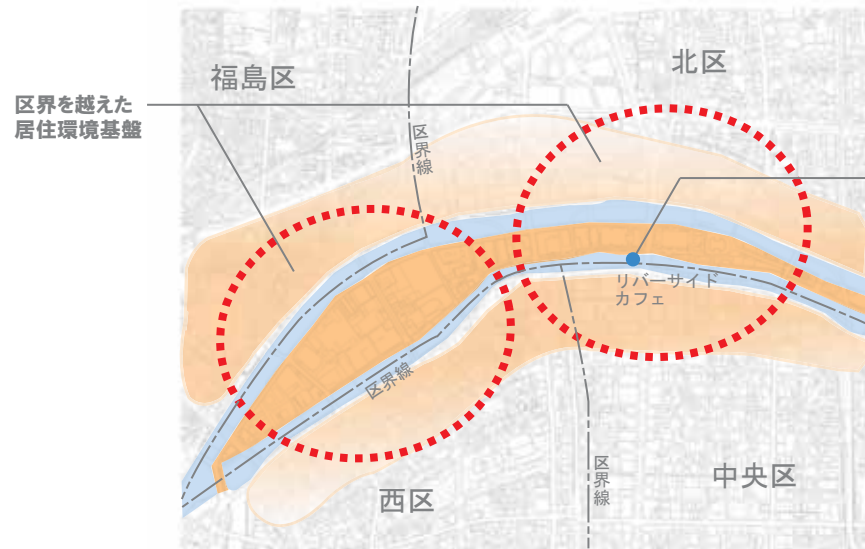
中之島図書館



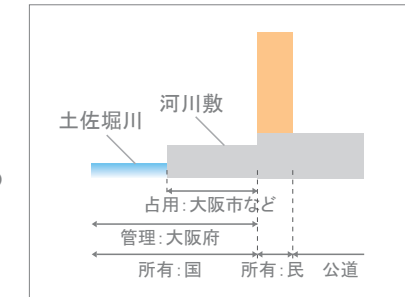
中之島全景



リバーサイドイメージ



河川空間模式図



中之島遊覧船



大阪市中央公会堂



## 【今後の整備に向けて】

### 河川空間の規制緩和と景観整備

- 都市再生緊急整備地域として、重点的に整備する
- 構造改革特区指定を活用し、河川区域でのリバーサイドカフェ・レストランの継続的利用など、民間活力を利用した生活に溶け込む河川空間利用を促進する
- 都心の水辺空間を活かすための河川関連規制の緩和を進める
- 大阪の顔としての水辺空間整備を進めるため、景観条例を活用した規制・ルール・ガイドライン整備を進める

### 「エリアマネジメント」実験エリア

- 景観のすばらしさ、アクセスのよさから、企業と共存できる高級感とゆとりのある居住エリアとなる可能性を持つ。その魅力を活かし、維持し、更に伸ばすための財政制約下でのまちづくり主体として、(仮称)中之島BIDを实践する
- 指定管理者制度を活用した、公共空間の維持管理受託による行政からの助成金確保、地権者等による「まちづくり共益費」の供出による自主的なエリア内投資、及びカフェ・駐車場等の自主事業の実施をめざす

### PRプロジェクトの展開

- 文化施設や大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルなどを活用し、「21世紀のライフスタイル～LOHAS(健康で持続可能なライフスタイル)～」について様々なプロジェクト(講座、イベント商品企画等)を展開する。展開主体は、中之島BIDを想定する
- ナイトカルチャーの充実に伴う夜間人口の増加及び安全・安心エリアとしてのPR(BIDsによる夜間パトロール等)を促進する

### 居住環境基盤の補完

- 景観的には優れた場であるものの、暮らしを支えるための生活基盤の不足を補う必要がある。通学距離を考慮した区界を超えた柔軟な学区割など、居住環境づくりを意識した職・住・遊・学の調和を図る
- 文化学術観光エリアとして整備することにより、対外的評価向上に伴うエリアへのあこがれを創造する



# 大阪駅周辺地域ー1（大阪駅北地区エリア）

## 【イメージの核となる資源】

- ①交通結節点としての利便性
- ②関西の玄関口としての大規模開発「大阪駅北地区」の存在
- ③淀川大自然への近さ
- ④商業・娯楽施設の大集積と生活基盤施設の充実
- ⑤アートに関わる活動の展開（大阪芸術大学梅田キャンパス・美術専門学校・中津ピエロハーバー・福島・大淀エリア）

## 【背景】

- ・関西の玄関口にある一等地の大規模開発エリアである
- ・ナレッジキャピタル構想を活かし、内外の多くの人を迎え入れるエリア



## 「インターナショナル・ハイクオリティ・ライフ」

居住イメージ：国際的に通じるアクティブで洗練された新しいまち

イメージターゲット：知識人、短期滞在者、国際派



※ 出典：北梅田（大阪駅北地区）ナレッジ・キャピタル構想パンフレット

住居イメージ



梅田



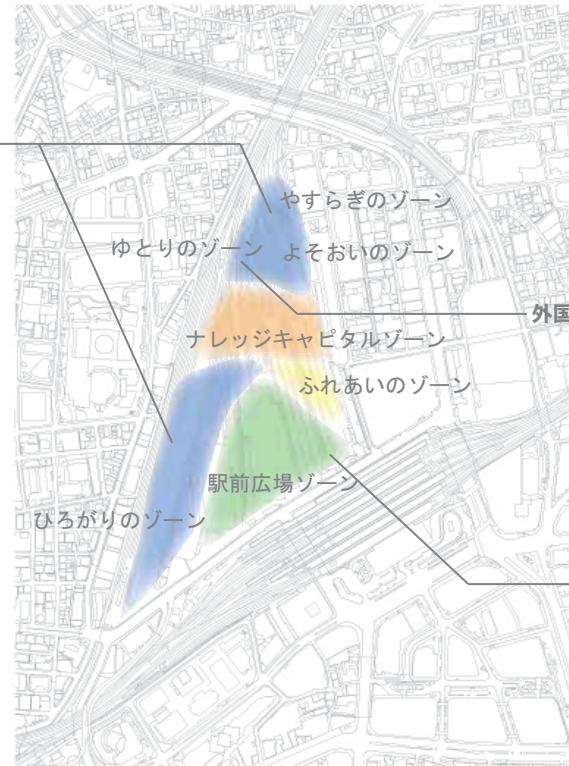
梅田



ビジネスシーンイメージ



高質な生活サービスの整備



外国人居住環境の整備

オープンスペースの整備

北ヤード全体イメージパース



大阪駅周辺夜景



大阪駅周辺イメージ



## 【今後の整備に向けて】

### 外国人居住環境の整備

- 外国人が生活しやすい各種ビジネスサービス、生活サポートサービスを提供する
- 外国企業社宅やナレッジキャピタル関係者に対するインセンティブがある居住エリアづくりを行なう

### オープンスペースの整備

- 大阪駅北地区のシンボル緑地であるとともに、居住者の潤い空間となり、さらに、風の道の確保など環境への配慮がなされたオープンスペースを整備する

### 高質な生活サービスの整備

- 質の高い教育施設・医療施設、豊かさを享受できる商業・飲食施設など北地区開発で整備される様々な街の機能と連動した高質な生活サービスを提供する
- 防災・減災・防犯・美化などの生活を守るためのシステムが内在された整備を行なう



# 大阪駅周辺地域－2（福島・大淀エリア）

## 【イメージの核となる資源】

- ①交通結節点としての利便性
- ②関西の玄関口としての大規模開発「大阪駅北地区」の存在
- ③淀川大自然への近さ
- ④商業・娯楽施設の大集積と生活基盤施設の充実
- ⑤アートに関わる活動の展開

## 【背景】

- ・洒落た飲食店の点在するスポットとして、注目されつつある
- ・大阪駅から徒歩圏、洒落た飲食店の進出により変化の兆しがある
- ・街の変化を誘導する先手を打ったイメージづくりが必要とされている



# 「大淀福島・シュペリアル・ライフ」

居住イメージ：アートを楽しむ上質な大人のまち

イメージターゲット：アクティブシニア・DINKS・独身



淀川のアオアシス化イメージ



アートのある街並み



シンフォニーホール



● 既存のアート拠点

● なにわ筋アートビレッジ

淀川のアオアシス化イメージ



国立国際美術館



アートベンチイメージ



ショップイメージ



## 【今後の整備に向けて】

### アート拠点整備とネットワーク化

- なにわ筋周辺に、アート工房でもあり、アートコミュニティの結節点ともなる「(仮称)なにわ筋アートビレッジ」を整備する。運営は地域の協議会や、(仮称)梅田BIDなどの地域振興のための非営利団体による運営を想定する
- まちのシンボル「シンフォニーホール」への、コミュニティ参加の仕組みをつくる

### 通り・筋のブランド化

- 中津ピエロハーバー、シンフォニーホール、国立国際美術館を結ぶなにわ筋を、花・緑・アートでデザインされ、しゃれた路面店が点在する歩いて楽しめる美しいなにわ筋アートロード「シュペリアル・L」として整備する
- 新しいまちである大阪駅北地区と本エリアをつなぐ路地や通りを整備する
- その際、アートベンチなどのストリートファニチャーの設置、アドプトロード制度、出店のルールづくり（業種・まち並み・デザイン・看板など）など、トータルデザイナーのもとに、ストリートイメージと連動した市民参加型の整備を進める

### 淀川のアオアシス化

- 淀川左岸線整備を機に、スーパー堤防を活かした河川と市街地との一体整備を行い、「川を楽しむ」「川からの景観・川への景観をつくる」「川へのアクセスを確保する」など、河川空間との近接性を活かす



# 御堂筋周辺地域－1（御堂筋）

## 【イメージの核となる資源】

- ①御堂筋ステータス
- ②新しいコトを生み出してきた船場の町衆と新しい船場コミュニティ
- ③人口回帰と新しい施設建設の動き
- ④船場の町割りと歴史的建造物（近代建築）の集積エリア

## 【背景】

- ・ 大阪を代表する優れたビジネスステータス・メインストリート御堂筋のエリアイメージを活かす
- ・ 1階の商業用途への転換、御堂筋ネットワークなどの活動により、歩くまち楽しむまちへと変化しつつある



# 「御堂筋・エグゼクティブ・アーバン・ライフ」

居住イメージ：グローバルなビジネスシーンにふさわしい  
都心の文化交流を楽しむ滞在型生活

イメージターゲット：短期滞在型ビジネスマン、  
国際的アクティブ層



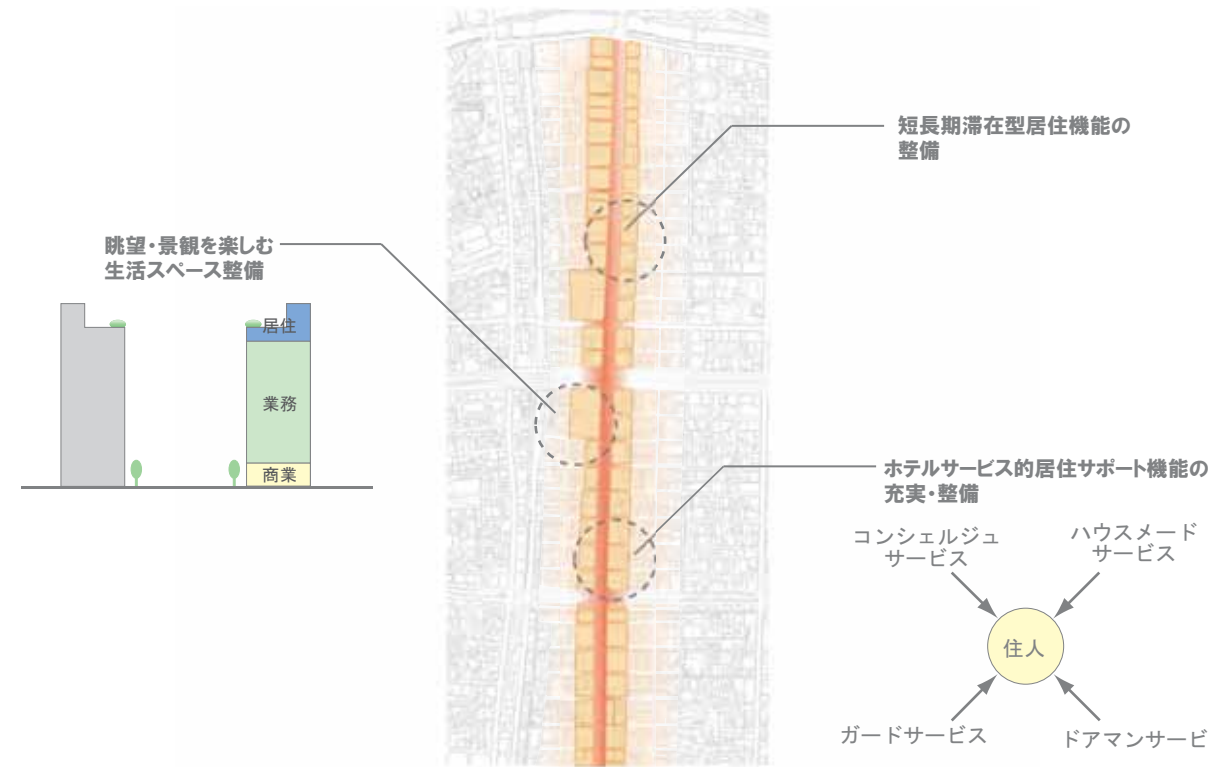
ブランドショップイメージ



ブランドショップ



御堂筋イチョウ並木



ブランドショップ



レストランイメージ



御堂筋



ブランドショップ



## 【今後の整備に向けて】

### 眺望・景観を楽しむ生活スペース整備

- ペントハウスのビルオーナーの居住、文化サロンスペース、ミックスドユース型（低層商業サービス、中層業務、高層居住・ホテルなど）などの高級アパートメント整備を推進する

### 短長期滞在型居住機能の整備

- 短長期のビジター向けの居住機能（例：パリのアパルトマンホテル等）を整備する
- オフィス・コンバージョンによる新しい滞在中市場の開拓を行なう

### ホテルサービスの居住サポート機能の充実・整備

- コンシェルジュサービス、ハウスマードサービス、ガードサービス、ドアマンサービスなどの高質な生活サービスを提供する
- 御堂筋ショップと連動したケータリングサービスなどの居住者特典を充実する



# 御堂筋周辺地域－2（船場）

## 【イメージの核となる資源】

- ①御堂筋ステータス
- ②新しい“こと”を生み出してきた船場の町衆と新しい船場コミュニティ
- ③人口回帰と新しい施設建設の動き
- ④船場の町割りと歴史的建造物（近代建築）の集積エリア

## 【背景】

- ・ 伝統と先端の文化が融合し、新しい“こと”や“ひと”を生み出すエリアである
- ・ 近代文化を生み出してきた「町衆文化」拠点である
- ・ 現代のビジネス・ステータスとしての御堂筋の隣接エリアである



綿業会館



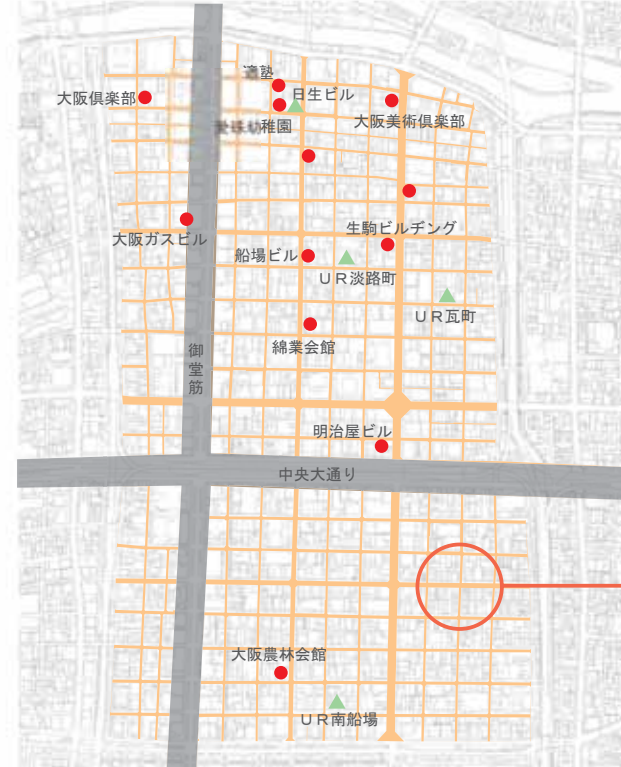
大阪ガスビル



愛珠幼稚園



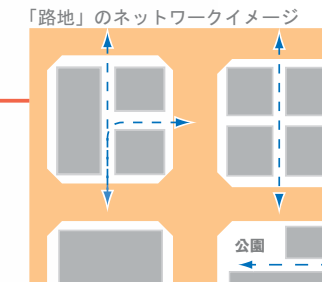
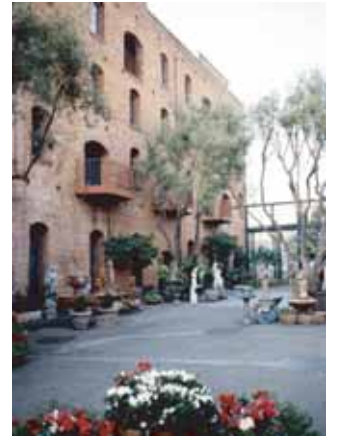
コンバージョン事例



生駒ビルディング



路地イメージ



船場ビル



## 【今後の整備に向け】

### 「船場スタイル」を再生するサロンネットワークづくり

- 職住同一の新しいタイプの居住者（SOHO・専門技能を活かした職業・本宅が京阪神等のマルチハビテーション）、働く人（企業市民）、学ぶ人、遊びに来る人（船場ファン）を含めた「新船場人」の文化コミュニティから、新しいサロンネットワークを創り出す例）
  - ・ せんばGENKIの会
  - ・ 四方山話の会
  - ・ せんば鎮守の杜芸術祭

### 「船場スタイル」の創造と発信

- 既存の街を活かし、歴史文化に目を向け、継承するとともに新しい価値を吹き込み、新しいライフスタイルを創造する
- 船場ファンをさらにつくりだすための、新しい船場人登録システムを構築し、創造活動の支援と内外に向けた情報発信を行なう

### 「船場スタイル」を表現する空間整備

- 太閤路地の再生や街区型の協調建替えにより、民有地の半公共空間「路地」をつくりだし、歩行者ネットワークの形成を図る
- 各建物の共有空間のオープン化による「共有空間ネットワーク」を整備し、ひとつの建物で行動が完結しないまち空間をつくる
- 「新船場人」の居場所・活動拠点として、船場に暮らすことを積極的に肯定する層の拠点整備「コンバージョン・モデル・エリア」を創設する